

室内にひそむ家族のドラマ——ドガ渾身の傑作、初来日。



INTÉRIEURS IMPRESSIONNISTES

intimité, décoration, modernité

オルセー美術館所蔵

印象派

室内をめぐる物語

2025.10.25 土 — 2026.2.15 日  国立西洋美術館 東京 上野公園
The National Museum of Western Art

開館時間 | 9:30～17:30(金・土曜日は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで 休館日 | 月曜日、11月4日[火]、11月25日[火]、
12月28日[日]—2026年1月1日[木・祝]、1月13日[火](ただし、11月3日[月・祝]、11月24日[月・休]、1月12日[月・祝]、2月9日[月]は開館)

主催 | 国立西洋美術館、オルセー美術館、読売新聞社、日本テレビ放送網 特別協賛 | Canon 大和証券グループ 協賛 | DNP大日本印刷
後援 | 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランス 協力 | 日本航空、日本貨物航空、ルフトハンザ カーゴ AG、ヤマト運輸、西洋美術振興財団

エドガール・ドガ《家族の肖像(ベレリ家)》1858-1869年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ © photo : C2RMF / Thomas Clot

 Musée d'Orsay
Exposition conçue par The National Museum of Western Art, Tokyo et le musée d'Orsay. Paris et organisée en collaboration avec The Yomiuri Shimbun

室内をめぐる、印象派の

オルセー美術館のコレクション、約10年ぶりの大規模来日

印象派といえば、移ろう光や大気とともにとらえた戸外の風景がまず思い浮かぶのではないのでしょうか。とはいえ、彼らの最初のグループ展が開かれたのは、近代化が急速に進む1870年代のパリ。この活気に満ちた大都市や、その近郊における現代生活の情景を好んで画題とした印象派の画家たちは、室内を舞台とする作品も多く手がけました。

とりわけ生粋のパリ市民であったドガは、鋭い人間観察にもとづいた、心理劇の一場面のような室内画に本領を発揮し、一方でルノワールは、穏やかな光と親密な雰囲気をつたえた室内情景を多数描きました。ほかにもマネやモネ、カイユボットらが、私邸の室内の壁面装飾を目的として制作した作品も少なくありません。印象派と室内は、思いのほか深い関係を結んでいたのです。

本展では、「印象派の殿堂」ともいわれるパリ・オルセー美術館所蔵の傑作約70点を中心に、国内外の重要作品も加えたおよそ100点により、室内をめぐる印象派の画家たちの関心のありかや表現上の挑戦をたどります。

オルセー美術館の印象派コレクションがこの規模で来日するのはおよそ10年ぶり。さらに今回、若きドガの才気みなぎる代表作《家族の肖像（ベレリ家）》が日本で初めて展示されます。マネ、モネ、ルノワール、セザンヌらの名品も一堂に会するこの機会に、室内というテーマを通して印象派のもうひとつの魅力をぜひご堪能ください。



フレデリック・バジール《バジールのアトリエ、ラ・コンダミンヌ通り》

1870年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ © Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Gabriel de Carvalho / distributed by AMF



エドゥアール・マネ《エミール・ゾラ》

1868年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ © Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Adrien Didierjean / distributed by AMF



ポール・セザンヌ《ギュスターヴ・ジェフロワ》

1895-1896年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ © Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Sylvie Chan-Liat / distributed by AMF



クロード・モネ《アバウトマンの一隅》

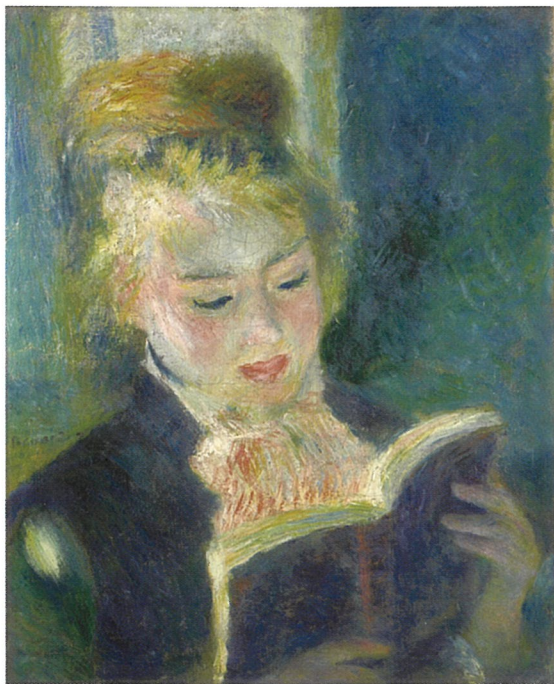
1875年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ © Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Martine Beck-Coppola / distributed by AMF



エドガー・ドガ《足治療師》

1873年 油彩、エッセンス/紙(カンヴァスで裏打ち) オルセー美術館、パリ © Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Tony Querrec / distributed by AMF

もうひとつの魅力



ピエール＝オーギュスト・ルノワール《読書する少女》

1874-1876年 油彩／カンヴァス オルセー美術館、パリ
© Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Adrien Didierjean / distributed by AMF



アルベール・バルトロメ《温室の中で》

1881年頃 油彩／カンヴァス オルセー美術館、パリ
© Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

見どころ

- 1 「室内」をテーマに、「戸外の光」だけではない印象派のもうひとつの魅力をご紹介します。
- 2 「印象派の殿堂」パリ・オルセー美術館から、日本初公開作品を含む約70点が来日！マネ、ドガ、モネ、ルノワール、セザンヌらの優品が勢ぞろい。オルセー美術館の印象派コレクションがこの規模で来日するのはおよそ10年ぶり。
- 3 若き日のドガによる、才気みなぎる代表作《家族の肖像（ベレリ家）》が日本初公開！
- 4 国立西洋美術館やフランス・ジヴェルニーの印象派美術館のほか、国内外に所蔵される重要作品も一堂に展示。



ギュスターヴ・カイユボット《ヒナギクの花壇》

1893年頃 油彩／カンヴァス 印象派美術館、ジヴェルニー
© Giverny, musée des impressionnistes / photo: François Doury



クロード・モネ《睡蓮》

1916年 油彩／カンヴァス 国立西洋美術館（松方コレクション）

チケット情報

観覧料(税込)	一般	大学生	高校生
当日券	2,300円	1,400円	1,000円
前売券	2,100円	1,300円	900円

- *中学生以下、心身に障害のある方及び付添者1名は無料。（学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください）
- *大学生及び高校生の方は、入館の際に学生証をご提示ください。
- *国立美術館キャンパスメンバーズ加盟校の学生・教職員は本展を学生1,200円、教職員2,100円でご覧いただけます。（学生証または教職員証をご提示のうえ会期中、ご来場当日に国立西洋美術館の券売窓口にてお求めください）
- *12月12日[金]～12月26日[金]は高校生無料観覧日。入館の際に学生証をご提示ください。
- *観覧当日に限り本展の観覧券で常設展もご覧いただけます。
- *前売券は5月29日[木]から10月24日[金]までの販売。
（国立西洋美術館インフォメーションでの販売は10月22日[水]まで）

そのほかお得なセット券など、スペシャルチケットも販売！
最新の情報は展覧会公式サイトをご確認ください。

グッズ

コラボグッズや展覧会オリジナルグッズを多数販売！



※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合がございます。

展覧会アンバサダー

上白石 萌音

俳優・歌手

美術館によく足を運び、印象派の作品も好きだという上白石萌音さんが、展覧会アンバサダーに就任！音声ガイドにも出演し、印象派画家たちが描く、室内をめぐる物語をご案内します。



[音声ガイド] ◎会場レンタル版：貸出料金 650円
◎アプリ配信版「iMuT」：配信料金 700円
(iOS/Android)

展覧会公式サイト

<https://www.orsay2025.jp>

X | @orsay2025 Instagram | orsay2025

お問い合わせ | 050-5541-8600（ハローダイヤル）

アクセス

国立西洋美術館 The National Museum of Western Art [東京 上野公園]

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 <https://www.nmwa.go.jp/>
・JR上野駅下車（公園口）徒歩1分・京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分
・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車 徒歩8分
※美術館に駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。



*車両通行不可

For English information

<https://www.orsay2025.jp/en>

INTÉRIEURS IMPRESSIONNISTES

intimité, décoration, modernité



部屋をみたす光と音の調べ——もうひとつの印象派。

オルセー美術館所蔵

印象派

室内をめぐる物語

2025.10.25 土 — 2026.2.15 日 M M M M 国立西洋美術館 [東京 上野公園]
The National Museum of Western Art

開館時間 | 9:30~17:30(金・土曜日は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで 休館日 | 月曜日、11月4日[火]、11月25日[火]、
12月28日[日]—2026年1月1日[木・祝]、1月13日[火](ただし、11月3日[月・祝]、11月24日[月・休]、1月12日[月・祝]、2月9日[月]は開館)
主催 | 国立西洋美術館、オルセー美術館、読売新聞社、日本テレビ放送網 特別協賛 | Canon 大和証券グループ 協賛 | DNP大日本印刷
後援 | 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ 協力 | 日本航空、日本貨物航空、ルフトハンザ カーゴ AG、ヤマト運輸、西洋美術振興財団

ビエール=オーギュスト・ルノワール《ピアノを弾く少女たち》1892年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ © Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

M O Musée d'Orsay
Exposition conçue par The National Museum of Western Art, Tokyo et le musée d'Orsay, Paris et organisée en collaboration avec The Yomiuri Shimbun